

令和 6 年第 4 回久米島町議会定例会一般質問

令和6年6月10日～6月12日

令和6年第4回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	保久村 登	1. 農業振興方策について	令和6年6月10日
		2. 法定外公共物である里道及び水路の維持管理について	
2	喜久里 強	1. 役場周辺の歩道にガードパイプの設置を	
		2. 仲里公園、比嘉公民館前に押しボタン式信号機設置を	
		3. 久米島町の上下水道整備について	
3	真栄平 建正	1. サトウキビ農家の所得向上策について	
		2. 道路整備事業について	
		3. 防災対策について	
		4. 渇水対策について	
4	田端 努	1. 本町の地域防災計画について	
		2. 水産業の振興について	
5	喜久里 猛	1. 石垣・竹富視察から	
		2. 松くい虫被害後の植林計画を	
		3. 高速船について	

令和6年第4回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程	
1	幸地 猛	1. 町民所得の向上対策について	令和6年6月11日	
		2. 台湾付近地震の避難行動について		
		3. 仲里運動公園の全体的な整備について		
2	富永 肇	1. 防災について		
		2. 久米島高校魅力化のプロジェクトについて		
		3. 学校教育について		
3	盛本 實	1. 久米島海洋深層水事業の推進について		
		2. 第3次久米島町観光振興基本計画への取り組みについて		
		3. 新たな道路環境の創生について		
		4. 「しまくとぅばの日」制定について		
4	赤嶺 秀徳	1. 産業振興について		令和6年6月11日
		2. 児童虐待について		
		3. 3次久米島町観光振興基本計画について		
5	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治		
		2. バーデハウス問題について		

令和6年第4回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	棚原 哲也	1. バーデハウスの再生について 2. 風森(銭田森林公園)の再開について 3. 第3次久米島町観光振興基本計画について 4. 津波警報発令時に一時的に避難できるタワーの設置を	令和6年6月12日
2	吉永 将志	1. 要生活支援者の金銭管理等の支援について 2. 町営住宅の活用状況は 3. 行政懇談会について 4. 堆肥センターについて	
3	新垣 幸子	1. 災害対策の今後の取組について 2. 畜産農家の現状と対策について 3. 沖縄や久米島の歴史及び平和教育の現状について 4. 地域おこし協力隊の活動実績と展望について	

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	保久村 登	1. 農業振興方策について	<p>(1) 農業の安定経営のためには、圃場整備などの農業基盤整備や機械化による農産物の生産体制の強化が必要である(本町第2次総合計画施策13参照)。 とりわけさとうきび農業にあつては、担い手の減少、高齢化の進行による労働力不足が深刻な問題となっていることから、耕起(畑起し)から収穫までのすべての作業について機械化が必須となっており、しかも大型機械の導入が望まれている。</p> <p>ところが、本町においては、圃場整備は一応なされているものの、道路と圃場との間の水路が蓋のない明渠のままとなっているため、農業用大型機械が圃場に進入できなかったり、進入しようとするとう水路を損傷してしまったりするような箇所があり、特にさとうきび生産農家の機械化の妨げとなっている。また、このままでは、大型機械の転倒による人身事故発生への恐れもある。</p> <p>ところで、この水路は、国から町が譲与を受けたものであるはずである。</p> <p>そこで、機械化による農業の安定経営、及び農業従事者の安全確保を図るべき立場にあり、かつ水路の所有者でもある町において、明渠のままとなっている水路に①蓋掛けをする、又は②移動通路を設置するなどの方策(別紙参照)を採る必要があると考える(別紙参照)。</p> <p>町長の見解を伺いたい。</p> <p>(2) これまで、上記のような明渠水路への蓋掛けないし移動通路設置の要望に対して、どのように対応してきたか。今後は、どう対応するか。</p> <p>町長の見解を伺いたい。</p> <p>(参照)</p> <p>ア 別紙「スマート農業技術の導入に対応した基盤整備の手引き」(青森県農林水産部農村整備課)9頁「農作業の省力化につながる簡易な基盤整備」</p> <p>イ 添付写真</p> <p>① 一部蓋のある事例 (字真謝後原)</p> <p>② 蓋のない事例 (字真謝フルチリ原)</p> <p>③ 蓋のある事例(葬儀場近く)</p> <p>④ 蓋のない事例 (字西銘)</p> <p>ウ 添付図面 (字真我里マガイ原)</p> <p>数筆の他人所有地と水路に囲まれた袋地状態の土地畑が一团となって造成されているが、道路に面しているのは一筆の畑のみで、その余の畑はこの畑と水路に囲まれた形となっている。水路に蓋はない。</p>	町長	<p>(1) 機械化に対応する基盤整備が遅れている状況にあり、排水路等が破損している箇所があります。乗り入れ場所確保の相談があれば対応しておりますが、大型機械の乗り入れについては農家や機械所有者が工夫して対応する必要もありますので、関係者と協議し取り組んでまいります。</p> <p>(2) 蓋掛け等の設置要望については、現場状況を確認の上可能な範囲で対応しております。</p>	建設課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 法定外公共物である里道及び水路の維持管理について	以下の点につき町長の見解を伺いたい。 (1) 里道及び水路については、平成17年3月末日までに国から市町村へ譲与されたようだが、本町も譲与を受けたか。 (2) 譲与を受けたのであれば、里道及び水路の維持管理の主体は町であることになるが、現在、本町は、どのような方法、形態で里道及び水路の管理を行なっているか。 ア 水路の草刈り、ゴミ上げ、泥上げはどうか。 イ 里道、水路において、破損等で補修を必要とする場合は、どうか。 ウ 水路がその隣接する畑より低地にあり、畑の法面が崩落する恐れがある場合や、崩落した場合はどうか。	町長	(1)本町においては、平成16年11月に譲与を受けておりません。 (2) ア 機能している水路の維持管理については、農家、町、土地改良区及び集落内外清掃等において管理に努めております。 イ 機能している里道及び水路の破損等については、町及び土地改良区で補修に努めております。 ウ 崩落の恐れがある場合は未然防止対策を検討し、崩落した場合は水路の機能回復に取り組んでいます。	(1)総務課、建設課 (2)総務課、建設課、産業振興課
4	喜久里 強	1. 役場周辺の歩道にガードパイプの設置を	役場周辺には、仲里小学校、球美中学校、中央保育園、なでしこ保育園等、教育施設があり、歩行者も大変多い。ガードパイプは仲里小学校から仲里給油所にかけて、球美中前にあるのみで、歩行者にとって大変危険である。役場周辺歩道のガードパイプに設置について町長の見解を伺う。	町長	県道の防護柵設置については、交通量が多い道路で通学路であれば設置の可能性があります。ご質問の箇所については事業効果等を勘案して必要性を検討することです。	建設課 総務課
		2. 仲里公園、比嘉公民館前に押しボタン式信号機設置を	平成29年に比嘉公民館が建設され、令和3年に仲里公園が完成。利用者の数が増え横断歩道を渡る際、止まってくれない車が少なくありません。大変危険な状態である。町民を交通事故から守るために、信号機設置について町長の見解を。	町長	道路交通法において、歩行者が横断歩道を横断する際は、車両は停止する義務が生じますので、道路交通法の順守をドライバーに周知するとともに、安心して道路を利用できるよう信号機設置が可能かどうか関係機関に働きかけしていきたいと考えております。	総務課
		3. 久米島町の上下水道整備について	台風通過後のたびに町から節水協力願いの放送がよくある。ダムが満杯であるにもかかわらず、同じようなことをされているが、それはどういった理由からか。 久米島町の下水道整備の進捗状況を地域別に伺う。	町長	・台風通過後の節水協力の呼びかけですが、台風通過後の各家庭での清掃や洗車などで水の使用量が増加しますと、各配水池の貯水量低下にともない断水の恐れがあるため節水協力の呼びかけを行っています。 ・仲里地区では、字真謝、宇根、泊、謝名堂、イーフ、比嘉、西奥武、真我里は完了しております。字銭田は令和7年度に工事完了を予定しております。字山城、儀間、嘉手苅につきましては、今年度に管渠の実施設計を行い、次年度以降から工事を計画しております。 具志川地区は、字鳥島、仲泊、大田、兼城、西銘、上江洲、字久間地、山里、仲地の地域において整備を完了しています。	上下水道課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	真栄平 建正	1. サトウキビ農家の所得向上策について	<p>(1)ハーベスター料金の低減策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会一般質問の回答でさとうきび振興協議会にて協議する旨の回答があった。どのような議論がなされたかを伺う。 ・単価設定について、減価償却費、燃料費、人件費等経緯費を積み上げ単価設定する必要がある旨の回答があったがどのような検討がなされているかを伺う。 ・さとうきび振興協議会の設立経緯、目的、決算状況、委員の構成を伺う。 <p>(2)土づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FMくめじまのさとうきび振興協議会の番組で大東島での土づくり等により反収増を図っており、土づくりの重要性をうたっている。その放送での反収と、土づくりの方法、その他重要と思われることは何かを伺う 	町長	<p>(1)さとうきび振興協議会との協議につきましては、構成員である沖縄県農業協同組合及び久米島製糖株式会社と意見交換を行いました。意見交換の結果、他の地域の自治体、製糖工場及び協議会が行っている支援策について調査を行うこととしております。</p> <p>単価設定につきましては、当時のハーベスター料金の設定根拠が不明なため積み上げ設定は行っておりません。</p> <p>さとうきび振興協議会の設立の経緯は資料が残っておりませんが、確認できておりません。目的につきましては、地域に即したさとうきびの生産振興を図り久米島糖業と農家経済の安定、向上に資することとなっております。令和4年度の決算状況につきましては、歳入が78,715,560円、歳出が72,090,906円となっております。委員の構成につきましては、久米島町、久米島町農業委員会、沖縄県農業協同組合久米島支店、久米島製糖株式会社、沖縄県さとうきび生産法人連絡協議会久米島支部、久米島町さとうきび生産組合となっております。</p> <p>(2)FM放送につきましては、昨年度、夏植え推進大会で南大東島の農業生産法人が発表した内容となっており、2021年期の単収は10a当たり約8tとなっております。土づくりにつきましては、植え付け前の緑肥栽培、バックホウを用いたの深土破碎及びロータリーを行い、バガスケーキ、糖蜜、堆肥の散布を行っております。また、小型ユンボでの捕植を行い、点滴チューブ灌水を行うことで単収増につなげており、このような農家のきめ細やかな肥培管理が重要となります。</p>	産業振興課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 道路整備事業について	(1)・宇江城城址線整備事業について。 ・事業の目的は。 ・当路線の課題、改修の要請は何処からあったか、文書はあるか。 ・①令和5年度事業費、②令和5年度までの事業費総計、 ③今後の計画事業費、それぞれの財源内訳を (2)・真謝マンドウ原の道路整備について ・議会答弁で整備を検討する回答があったが進捗状況は	町長	(1)事業目的としては、対面通行を可能とすることで交通の利便性を図り、観光及び民生安定に寄与する目的で整備しております。 当路線の課題は、終点側は幅員が狭く車両の側溝への脱輪や接触事故等があり、観光バスの通行に支障をきたしております。改修の要請文書等はありませんが、観光関連事業所等から整備要望があり、平成28年12月定例会で道路拡幅整備について一般質問がありました。 事業費については、令和4年度まで230,467千円、令和5年度93,535千円。 令和6年度以降552,728千円となり、財源内訳は国補助金80%、地方債20%となっております。 (2)真謝マンドウ原の道路整備については、補助事業採択、用地取得及び財源確保が難しいため、進展がない状況です。	建設課
		3. 防災対策について	令和6年4月3日の台湾地震による、町防災計画の検証と課題と今後の対応策について伺う。	町長	台湾東部沖地震では、本町においても津波警報が発令され、即時に災害対策本部を設置し、各避難所での避難誘導・避難支援を行いながら情報収集等の対応にあたりました。今回高台へ避難するために車移動が多かったため、避難経路で混雑が生じていたことが大きな課題となっております。今後については、車移動での避難経路の見直しを行い周知を図ることで対応していきたいと考えております。	総務課
		4. 渇水対策について	今回の渇水による課題と今後の対応策について伺う。	町長	令和5年9月以降の雨不足により、久米島町内のダムの貯水率が著しく低下したことに伴い、令和6年1月に久米島町渇水対策本部を設置し全町民、及び事業所の皆様への節水協力の呼びかけのチラシ配布、防災無線及びFMラジオ、公式LINEを活用して節水の呼びかけを行いました。 課題としまして、節水協力の呼びかけ以外の対応で給水制限等の実施による影響の分析が必要であること、また今回は町内の各池が全体的に貯水率が低下したことから、供給体制のさらなる検討が必要であると考えます。今後もこういう事態が起こることが予想されますので、平時から関係機関と対応策について連携して取り組んでまいります。	上下水道課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	田端 努	1. 本町の地域防災計画について	<p>これまで2回にわたり災害に対する本町の取組みについて質問してきたが、今年4月に発生した津波警報発令時に、行政として地域防災計画に沿った避難活動等が出来ていたのか、以下の点について質問します。</p> <p>(1)各地域での避難誘導體制は適切に行われていたか伺う。</p> <p>(2)各避難所の物資の保管状況と、避難者に対する物資の供給は適切であったか伺う。</p>	町長	<p>(1)各地域の避難場所については、災害対策本部の指示により配備要員として職員を配置し避難誘導・避難支援を行いながら情報収集等の対応にあたっております。避難場所によっては、車移動などの状況によって人員配置が足りていない箇所も今後の課題となっております。</p> <p>(2)今回の津波警報により避難した避難場所として物資を保管している施設は1箇所となっております。特に飲料水については、警報発令から2時間後あたりから各避難場所へペットボトルの供給を行っております。ただ、高台への避難については、人命を最優先に行動することと、事前準備として各自で飲み物等持参し対応していくことも併せて周知していきたいと考えております。</p>	(1)総務課 (2)総務課、福祉課
		2. 水産業の振興について	<p>離島である本町から水産物の安定的な水揚げ、及び生産・出荷・輸送を行うために、以下の課題について取り組みが出来ないか伺う。</p> <p>(1)クルマエビ養殖業者が抱える課題と、その解消に向けての支援。</p> <p>(2)浜の活力再生プランの早期の策定。</p> <p>(3)本町独自の助成事業。</p>	町長	<p>(1)クルマエビ養殖事業者が抱える課題としましては、各施設の老朽化、車エビのへい死及び輸送方法の多角化等が課題となります。その解消に向けては、浜の活力再生プランの策定に伴う各事業を実施するとともに、クルマエビのへい死につきましても、関係機関と意見交換を行ってまいります。</p> <p>(2)浜の活力再生プランの策定につきましては、久米島漁業協同組合から提出される資料の内容を検討の上、早期の策定に向け取り組んでまいります。</p> <p>(3)本町独自の助成事業につきましては、水産事業者の抱える課題を整理した上で、事業者のニーズに対し、その課題解決に見合う効果を発現できる事業となりえるのか、また、既存の事業を活用できないのかを踏まえ、検討してまいります。</p>	産業振興課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	喜久里 猛	1. 石垣島・竹富町視察から	(1)竹富町のゆがふ館に「閉まるまで開いています」の案内板があり、竹富町役場には「子ども未来課」が設置されていた。行政の前向きな姿勢を感じたが、この2件について久米島町の意見を伺いたい。 (2)石垣島(石垣空港～石垣港間)でも外来雑草や久米島と同じく新種の外来雑草が増えている。特殊外来雑草に指定できないか。国の新しい事業を起こせる可能性は出てくるか。	町長	(1)竹富町の取り組みについては、詳細を把握しておりませんが、町民が利用しやすい施設運営や町民サービスを積極的に取り組んでいきたいと考えております。また、課の設置につきましては、昨年度より福祉課において、子ども班を配置し、町民サービスの向上に向けて取り組んでおります。 (2)特殊外来雑草の指定につきましては、国の特定外来生物にも指定されておりますツルヒヨドリが令和3年度に本町内で発見されており、早期に防除作業を行いました。 今後も生育地域の拡大がないよう、県との連携を図り、防除対策に努めてまいります。	(1)総務課 (2)環境保全課
		2. 松くい虫被害後の植林計画を	松くい虫被害については我々の予想を上回る早さで被害が広がっている。将来を見据えて植林をする必要があるが町の計画を伺いたい。	町長	松くい虫被害箇所における植林の必要性につきましては、台風等による自然災害も考えられることから、防除対策と並行して検討すべき課題であります。 自然に行われる松の更新や樹種転換、人工的な植林など、さまざまな事例がありますので、本町においての最適な方法を模索し、対応を協議してまいります。	環境保全課
		3. 高速船について	(1)那覇・久米島間の高速船は何月に就航するか。(2)兼城港の着岸場所と駐車場の整備は大丈夫か。	町長	(1)実施事業者からの説明によれば、一般旅客定期航路事業の新規許可に伴う手続きを沖縄総合事務局へ申請し許可が最速で2か月を要することから高速船の就航は令和6年9月頃の就航予定とのことです。 (2)着岸場所については港湾管理者の県と調整すると聞いております。駐車場整備については、本年度に実施設計を行い整備する予定とのことです。	(1)商工観光課 (2)建設課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	幸地 猛	1. 町民所得の向上対策について	沖縄県統計課は各地域の経済水準を示す2021年度の「市町村民所得」を発表した。それによると久米島町は2,024千円と4%の増加率となっているが、対県民所得水準の90.6%となっている。町民所得の向上を図る対策を講じる必要があると思うが、町長の見解を伺う。	町長	町民所得に関する統計資料によりますと町内純総生産額は令和元年度に237億円まで増加しておりましたが令和2年度に204億、令和3年度に198億との減少傾向にありコロナ感染症の影響を受けたと考えられます。令和4年以降は観光入域者数の回復は見られるものの、物価高騰による各産業への影響もありますので注視していく必要があります。 産業従事者数におかれましても1次産業・2次産業においては平成17年国勢調査以降減少傾向が続いております。 町民所得の向上に向けた取り組みについては、基幹産業である農業、漁業の更なる振興に加え、観光産業との連携や情報通信技術(ICT)の導入、生産品の高付加価値化を推進する必要があると考えており、持続的発展のためには担い手の確保及び育成が重要であると考えております。	企画財政課、産業振興課、商工観光課
		2. 台湾付近地震の避難行動について	4月3日の台湾付近を震源とする大地震で津波警報が発表された際の避難行動について、町民が津波を避けるために高台に避難した。その際の町民の避難行動についてあらゆる角度から検証する必要があると思うが、その検証はなされたのかを伺う。	町長	今回の避難については、車移動が多かったために避難場所の避難経路で混雑が起きており、避難誘導において支障が出ました。それぞれの避難場所において、複数の避難経路や誘導箇所、配置人数など避難状況にあった迅速な人員配置が必要であったと考えております。	総務課
		3. 仲里運動公園の全体的な整備について	仲里運動公園内の管理棟、B&G体育館、プール、テニスコート、グラウンド、トイレ、野球のバックネット等、仲里運動公園内の全体的な整備が必要だと考えるが、全体的な公園整備をする計画がないか伺う。	町長・教育長	仲里運動公園内の各施設につきましては、現在のところ、全体的な公園整備に関する計画はございません。 既存の施設の老朽化が著しく、施設を利用する町民には満足いくようなサービスを提供できていないのが現状です。 町民の健康増進はもとより、キャンプ誘致や大会誘致にも重要な施設である為、今後の整備計画につきましては、現在の利用状況や町の総合計画等も含めた協議が必要になると考えます。	環境保全課、教育課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
2	富永 肇	1. 防災について	今年4月3日に久米島地方に津波警報が発令され、町広報マイクや久米島町公式ラインで高台への避難をするよう呼びかけられ、多くの町民が避難したと情報がありました。避難状況の検証や意見交換等は行ったか伺います。	町長	今回の津波警報発令で避難した状況について、大きな課題としては、車移動による避難経路での混雑の解消が挙げられ、今後も避難経路見直しや人員配置等について継続的に検証していく必要があります。また、区長会では、避難場所で情報が入らない、トイレがない、防災倉庫が避難場所がないなどの意見があり、改善の必要があります。また、防災拠点施設である「ほんのもり」についても職員、公営塾職員との意見交換会を設け改善点などの見直しを共有しております。	総務課
		2. 久米島高校魅力化のプロジェクトについて	(1) R6年施政方針にあります、久米島高校の魅力化プロジェクトの、これまでの取り組みを充実させるとありますがこれまでの主な取り組みを伺う。また検証は行っているか。 (2) 新たな取り組みや支援策はあるか伺う。 (3) 令和6年の予算計上で久米島高校魅力化プロジェクト記念誌策定の業務委託がありますが中身を伺います。 (4) 久米島高校海外短期留学派遣の取り組みを伺う。 (5) バス通学生の支援策はないか伺う。	町長	(1)久米島高校魅力化プロジェクトでは、①まちづくりプロジェクト、②離島留学制度、③町営塾を3本の柱として実施しております。検証については毎年行っている実施計画にて行っております。 (2)新たな取組について大きく変えることは行っておらず、久米島高校や関連機関との意見交換などにより改善に努めております。 (3)久米島高校魅力化プロジェクト10年のあゆみの策定にあたっては、詳細については関係者とこれから詰めてまいります。が、これまで先人たちが取り組んできたことを後世に残せるよう取り組んでいく予定であります。 (4)海外短期留学については学校側の意見を踏まえ検討してまいります。 (5)高校生に対するバス通学支援については、「沖縄県バス通学費等支援事業」があり、久米島高校でも活用されていますが、町独自の支援策はございません。	(1)～(4)企画財政課 (5)商工観光課
		3. 学校教育について	(1) 学校給食費が今年度4月より無償化から一部負担となりました。今後の給食費の支援をどのように取り組む考えか伺う。 (2) 情報の発信について。教育委員会からの情報発信が遅いと保護者の意見があります。どのように捉えているか伺う。	教育長	(1)令和4年7月から令和5年度までは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食費保護者負担分を全額助成するとともに、保護者負担分のみでは賅いきれない食材費分を町単費にて継続支援しました。 臨時交付金終了に伴い、今年度は町単費の助成事業として、給食費保護者負担分の3分の1の助成を行うとともに、物価高騰の影響に伴う食材費の上昇に対し、保護者の負担増とならないよう、保護者負担額の引き上げを行うことなく、町単費の食材費支援を継続実施してまいります。 (2)教育委員会から保護者への通知が、4月15日と遅くなってしまったことを、大変申し訳なく思っております。	給食センター

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	盛本 實	1. 久米島海洋深層水事業の推進について	<p>久米島海洋深層水事業に関しては、過去にそれぞれの議員から質問がありました。しかし町長の答弁では、調査をしながら検討します。関係機関と調整を行いながら進めますとの答弁で終始しています。この海洋深層水事業については、関係者(研究機関・事業者)のみではなく町民においても大変な関心を寄せている事業でもあります。それは何かというと、海洋深層水事業複合利用「久米島モデル」の中で示されている経済効果が約80億円／年、雇用創出が1,500人という効果は町民にとっては大きな関心事でもあります。そこで伺います。</p> <p>(1)この事業が遅々として進まない原因について (2)海洋深層水のブランド化を高めるために設置された久米島海洋深層水連絡協議会の現状について (3)今後の進め方について(タイムスケジュールも含む)</p>	町長	<p>(1) 久米島海洋深層水事業の規模拡大に向けては平成22年度に本町が実施した緑の分権改革推進事業「久米島海洋深層水複合利用基本調査」において経済効果、環境負荷低減効果等の高いことが示され、町主体でコンソーシアムを発足して国及び県や大学、関係機関と意見交換を重ねてまいりました。</p> <p>コンソーシアムのメンバーでもある沖縄総合事務局では本事業の具体化に向けて平成29年度に「離島地域における海洋深層水を活用した地域活性化可能性調査」を行い、沖縄県の離島振興を図るうえで本事業が大きな可能性を秘めていることを報告しました。本報告を踏まえ本町及び沖縄県庁の関係課と検討チームを発足して大規模化実現に向けて協議を重ねてまいりました。</p> <p>協議を重ねる中で国庫補助等の事業化に向けてはさらに詳細な費用の積算が求められたことから、令和3年度に「久米島海洋深層水活用・漁業用施設整備全体計画」の策定に着手しました。</p> <p>いずれの調査委においても10万トンレベルの大口径取水管敷設工事は公共事業としての国内実績がなかったため調査等に長期の年数を要したことが進捗が遅い要因となっております。</p> <p>(2) 久米島海洋深層水連絡協議会では、海洋深層水の利活用に関して理事会の開催を通じて情報共有を図るとともに、毎年6月12日の深層水の日に合わせてイベントを開催しており、本年度で18回目となります。また、海洋深層水フォーラムを2～3年に1度の頻度で開催するほか、海洋深層水利用学会に所属するなど、深層水を利用した研究等の発表等を行っております。</p> <p>なお、2025年には同学会を久米島で開催予定です。</p> <p>(3) 昨年10月に完了した全体計画策定業務で明らかにした課題を踏まえ、どう進めていけばよいか検討して参ります。現在、民間事業者が行っている実証事業の延長で大口径取水管に関する実証も行えないかという構想もありますので、実現に向けて産・学・関連携の強化を図ってまいります。</p>	(1)、(3) プロジェクト推進課 (2) 商工観光課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 第3次久米島町観光振興基本計画への取り組みについて	<p>今年から第3次久米島町観光振興基本計画に基づく事業がスタートしていますが次の件について伺います。</p> <p>(1)実施計画は策定されているのか。</p> <p>(2)5年間の達成目標値で観光入域客数が15万人／年、観光消費額10万円／人を掲げているがハードルが高いのでは。可能性としてどのように考えているのか。</p> <p>(3)目標達成のための、いろいろな施策を計画しているが、施策達成の為に、勿論のことそれなりの経費が必要だと思われるが、その予算措置対策は出来ているのか。</p> <p>(4)基本理念として「持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズム」を掲げているが、経済5団体だけではなく、町民との連携の方法はどのように行おうとしているのか。</p>	町長	<p>(1)第3次久米島町観光振興基本計画では優先的・重点的に取り組む事業を年次的に示したアクションプロジェクトを策定しており、個別の実施計画は策定しておりません。</p> <p>(2)本町の観光振興を考えるうえで最大の課題は観光入域客の繁閑差であると認識しており、閑散期の誘客をより強化することにより5年後の目標が達成できるよう取り組んで参ります。</p> <p>(3)目標達成に向けて観光庁等、関係省庁の各種補助メニューや沖縄振興特別推進交付金などを積極的に活用していく考えです。</p> <p>(4)町民との連携については、平成25年度に制定された久米島町観光振興条例に定められた町、観光事業者、観光関係団体、町民それぞれの役割が果たされるよう、同条例の基本理念の理解促進に努めるとともに、第3次久米島町観光振興基本計画においては、観光が持つ力を地域課題の解決や地域活性化につながるよう取り組むこととしており、具体的な取り組みとして、一般家庭に観光客を受け入れるホームビジットの充実やFM久米島を活用した情報発信の強化など掲げています。</p>	商工観光課
		3. 新たな道路環境の創生について	<p>松くい虫被害の流行から重要な松の保存のために「戦略的放置」方法で対応を進めようとしていますが、道路植栽の松においては恐らく放置木の一つであろうかと想定します。その松が枯れてから処分するのではなく、早急に伐木し、松以外の樹種を選定し植栽を施した方が、新たな道路景観を形成できるのではないかとと思うが、この様な計画がないかどうか伺います。</p>	町長	<p>道路植栽の松くい虫対策については、五枝の松周辺は樹幹注入を行い対策を行っております。今後の対策や伐倒後の植栽計画については県と調整してまいります。</p>	建設課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 「しまくとぅばの日」制定について	<p>沖縄県においては、戦後まもなくまで強力な標準語励行運動が実施され、伝統的な言葉の衰退が本土以上に進み、高齢者以外の日常会話は「ウチナーヤマトグチ」が主流となった。郷土文化を見直す機運が高まる中、「しまくとぅば」の現状を危惧する声も強くなり、「沖縄県各地のしまくとぅばを次世代に継承していこう」などとの趣旨で、2006年に「しまくとぅばの日に関する条例」を制定しその奨励に努めています。</p> <p>本町においても「しまくとぅばの日」を制定し、各地域に伝わる伝統的な言語文化である「しまくとぅば」の保存・普及・継承の奨励に努めて頂きたいが、どのように考えているのか伺います。</p>	教育長	<p>消滅の危機にある「しまくとぅば」を次世代へ継承していくため、行政・教育機関・文化団体・民間企業等が連携協力して実施している県民運動の展開を推奨し、県民一丸となって行っている取組の普及、継承のため、本町におきましても、今後も県の普及推進計画等を推進してまいります。</p> <p>また、しまくとぅばの重要性を認識しつつも、日常生活の中で話す機会や聞く機会が十分ではないことは、県民意識調査結果からも明らかです。</p> <p>県条例に基づく「しまくとぅばの日」を認識し、学校においても「しまくとぅば読本」を活用して、子どもたちがしまくとぅばに触れ、学ぶことができるように取り組んで参ります。</p>	教育課
12	赤嶺 秀徳	1. 産業振興について	<p>町長は、令和6年度の施政方針で「高付加価値を高める作物として期待されるコーヒーやバナナ等については戦略品目への認定に向けて、関係機関と連携していく」と述べています。6点伺う。</p> <p>(1)戦略品目認定とはどのような認定か (2)コーヒー・バナナの戦略品目認定は可能か (3)認定が可能であればその手続は個々で行うのか (4)認定に向けて作業中(手続中)であれば進捗状況について伺う。 (5)戦略品目認定を得た場合のメリットは (6)コーヒーやバナナを栽培している町民に対して本町が取るべき対策は何かを伺う</p>	町長	<p>(1)戦略品目とは、「農林水産物の市場競争力の強化により生産拡大及び付加価値を高めることが期待できる品目」で、沖縄県で選定された品目となっており、その品目の拠点産地形成を推進するための認定となっております。</p> <p>(2)戦略品目及び拠点産地の認定には、栽培面積や安定生産・安定出荷体制の確立など各種要件を満たす必要があります。コーヒーやバナナについては認定要件自体が定められておりませんので、現時点での認定は困難です。</p> <p>(3)認定の可否につきましては先述したとおり現時点では困難ですが、認定に向けての作業は生産者やその団体、本町等が連携して行います。</p> <p>(4)進捗状況につきましては、沖縄県に情報収集を行っております。</p> <p>(5)メリットとしまして、戦略品目として選定を得た場合には、次に拠点産地としての認定を目指すこととなります。拠点産地の活動に対しては、県から産地指導、技術問題の解決及び各種事業の導入等の支援を受けられるものとなります。</p> <p>(6)コーヒーにつきましては、生産組合も設立されていることから引き続き、戦略品目への選定及び拠点産地認定に向け取り組んでまいります。バナナにつきましては、生産者と意見交換を行ってまいります。</p>	産業振興課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 児童虐待について	<p>町長は、施政方針の中で「児童虐待防止は町民や関係機関への周知を図るとともに、要保護児童対策地域協議会との連携を強化し、児童虐待防止に努める。併せてヤングケアラー問題及び子供の貧困対策にも取り組む」としています。2点伺う</p> <p>(1)児童虐待・ヤングケアラー・子供の貧困の実態把握は行われているか。</p> <p>(2)この三者(児童虐待・ヤングケアラー・子供の貧困)の問題には不登校児等も絡むものと思われる、その不登校対策は十分に行われているか伺う。</p>	町長 教育長	<p>(1)要保護児童対策地域協議会としての実態把握は行っており、令和6年4月時点では登録世帯数が31となっています。現在、登録された世帯の状況を確認しながら、必要に応じ関係機関と個別支援会議を開催しており、支援を行っております。</p> <p>(2)教育委員会では、不登校児の実情に応じ、「よんなあ教室」を活用し学校復帰・社会的自立に向けた様々な支援を行う他、スクールカウンセラー、小中アシスト支援員を派遣し、不登校対策を行っております。</p>	(1)福祉課 (2)教育課
		3. 第3次久米島町観光振興基本計画について	<p>第3次久米島町観光振興基本計画が策定されました。その中で現状と課題も見えてきました。課題のなかに情報発信・魅力を届ける取り組みの強化があります。課題の現状として「沖縄本島の観光客にも、久米島はまだあまり知られていません。久米島の魅力を知ってもらう・関心を持ってもらうための取り組み強化が必要です」と述べています。この現状を打破するための具体的な取り組みを伺う。</p>	町長	<p>第3次久米島町観光振興基本計画では目標達成のため、沖縄本島在住者や沖縄に何度も訪れるリピーター観光客をターゲット像としており、沖縄本島で開催される各種イベントでの情報発信強化や新聞・メディア・ウェブサイトを通したPRに加え、久米島出身の方々や関係人口に向けた情報提供や連携が図られるよう努めてまいります。</p>	商工観光課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	<p>ウクライナとロシアの戦争、更にはハマスとイスラエルの戦争ではイスラエルが幼児、医師、看護師等を含む大量の人たちが虐殺、3万数千人のパレスチナ人が殺害された。台湾海峡では中国福建省と約2km金門島では、アメリカのグリーンベレーが駐留、軍事訓練を行っているという。沖縄本島では、スペイン軍がいる。このような戦況等から見て台湾有事は現実になりつつある。と私は実感する。日本は台湾有事に前のめりになり、沖縄を犠牲にする事は明らかだ。この世界情勢等を想定し、次のとおり質問する。</p> <p>(1)嘉手納基地に貯蔵されている40万発の劣化ウラン弾を鳥島射爆撃場へいつ使用されてもおかしくないと思っているがどうか。</p> <p>(2)長年、町民のガン死亡者が増えている。その原因の多くは劣化ウラン弾によると私は思っているがどう思うか。</p> <p>(3)ジョン・ミッチェルがアメリカから入手した放射性物質の公文書について、町長は「その公文書について、確認していない」と何度も答弁している。その確認に関し、県の誰に、あるいは軍転協の誰に確認したか回答する事。また、その確認方法は文書か口頭か。</p> <p>(4)町執行部はFMで比屋定バンタ入口から宇江城城跡の間、観光道路を建設中だと放送したと言う。どの予定で、どのような工法で行うのか。</p>	町長	<p>(1)鳥島射爆撃場への劣化ウラン弾の使用については、これまでも調査等を実施している観点からも使用するとは考えておりません。</p> <p>(2)これまでの調査結果や町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると放射性物質の影響は無いものと考えておりますが、放射線測定を継続して行うなど監視を行ってまいります。</p> <p>(3)公文書につきましては、外務省沖縄事務所宛て文書にて照会しておりますが、通常文書での回答は行っておらず、電話連絡での対応でした。また軍転協については、口頭での依頼で進捗はございません。</p> <p>(4)ご質問の道路整備は、宇江城城址線道路改良工事のことであり、平成30年度から着手し令和9年度完了予定で整備を行っております。</p>	(1)～(3)総務課 (4)建設課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. バーデハウス問題について	<p>(1)バーデハウスの再開はあるのか。具体的に。</p> <p>(2)バーデハウス前の階段式コンクリート護岸の撤去・改修はあるのか。</p> <p>(3)5月14日に竹富島を視察した。道路はほとんどアスファルトを造らず、古民家を多く残し、赤瓦が映え美しかった。失われた自然を町はどう再生させるのか。</p> <p>(4)奥武島の橋は3分の1水路になっている。全体を下駄に出来ないか。砂は奥武島等を回っていると言う。橋のために泊フィッシャリーナも埋る。その対策は。</p>	町長	<p>(1)バーデハウス久米島再生プロジェクトに関しては昨年12月28日に民間提案の再公募を開始し、令和6年2月に2者からの参画表明を受けました。その後、企画提案書の提出に向け、両者と個別に対話を行いました。そのうち1者から4月2日付け参画辞退の届出が提出されました。その後、残る1者から4月30日に企画提案書が提出され、5月31日に開催を予定していたバーデハウス久米島再生プロジェクト民間提案事業者選定委員会での審査に向けて準備を進めていたところ、5月23日に提案辞退の届出がありました。このような状況を踏まえ、本町では公募を中止するとともに、事業者選定に至らなかった要因分析や再度の公募に向けた条件整理等を続けております。</p> <p>(2)コンクリート護岸の撤去・改修の予定はありません。</p> <p>(3)景観形成重点地区においては、赤瓦住宅を残すための葺き替え助成を設け、集落景観の保全に努めております。昔ながらの景観の保全・創出については、官民一体となった取り組みが必要と考えております。</p> <p>(4)奥武島の橋梁については、修繕を行い長寿命化する予定としておりますので、橋の構造的な変更については、架け替え時に検討します。</p>	(1)商工観光課 (2)～(4)建設課
1	棚原 哲也	1. バーデハウスの再生について	バーデハウス久米島は令和2年に一時休館となり4年経過している。バーデハウス再生に向け民間事業者との対話を通じ民営化に向けた公募条件と周辺施設(公共施設)の効果的活用等、調査、検討をしてきたと思うが、運営主体となる事業者の選定等再生プロジェクトの進捗状況を伺う。	町長	1)バーデハウス久米島再生プロジェクトに関しては昨年12月28日に民間提案の再公募を開始し、令和6年2月に2者からの参画表明を受けました。その後、企画提案書の提出に向け、両者と個別に対話を行いました。そのうち1者から4月2日付け参画辞退の届出が提出されました。その後、残る1者から4月30日に企画提案書が提出され、5月31日に開催を予定していたバーデハウス久米島再生プロジェクト民間提案事業者選定委員会での審査に向けて準備を進めていたところ、5月23日に提案辞退の届出がありました。このような状況を踏まえ、本町では公募を中止するとともに、事業者選定に至らなかった要因分析や再度の公募に向けた条件整理等を続けております。	商工観光課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 風森(銭田森林公園)の再開について	令和6年3月議会の一般質問での答弁で「3月中に公募を行っていく」としていたが、応募の状況他、再開に向けての進捗状況は。	町長	これまで、3月末の公募に向けて島外民間事業者と対話を重ね公募準備を進めておりましたが寄付者側の意向も確認するなかで地域が持つ自然・風土・文化を活かしながら持続可能な島の未来をつくるための交流活動拠点として地元団体主体の運営を図ってほしい旨の意見がありました。このような意向を踏まえ公募を保留し、運営主体や方策について検討している状況です	プロジェクト推進課
		3. 第3次久米島町観光振興基本計画について	持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズムを目指し5年後の観光入域客15万人とし、海、ビーチにおける観光客の来島者の満足度67%から80%台にするとしているが、取組方針1として美しい海、ビーチの保全美化があげられているが、毎日のように打ち上げられる漂着ゴミ対策や取組方針4の久米島らしいビーチエリアの創出、磨き上げて魅力ある景観、まちづくりの推進が上げられているが、(1)県道の未整備部分の早期整備、(2)イーフビーチ南側の海岸にある荒廃した構築物の取扱い及び(3)イーフエリアの中心に位置する県道イーフビーチ線と接続される町道比嘉6号線の整備についても進捗状況を伺う。	町長	(1)県に確認したところ、イーフ地区の未整備部分は本年度から整備を再開することです。 (2)施設につきましては、民間業者の所有となっておりますので、適正管理を引き続き行うよう呼びかけしていきたいと思っております。 (3)町道比嘉6号線については、本年度実施設計を行い次年度以降用地買収及び工事を行う予定となっております。	(1)建設課 (2)総務課 (3)建設課
		4. 津波警報発令時に一時的に避難できるタワーの設置を	イーフ地区は海拔が低く、また町が一時避難場所に指定している登那覇園地、比嘉の神屋地区まで約2kmの距離があり、車両を使用しての避難に限られ渋滞に巻き込まれる恐れもある。また、地域にあるホテル等と町との避難所としての協定も破棄された状態にあり、地域住民、観光客の生命を守る観点からイーフ地区に一時避難タワーの建設が早急に必要であると考え。町・行政としての取組方針を伺う。	町長	イーフ地区については、避難所として2か所のホテルと避難ビルの協定を締結しておりましたが、改修等により避難ビルとして利用できない状況がありました。現在は1箇所ではありますが避難ビルの協定締結に向けて協議を行っております。避難タワーの建設につきましては、町全体の整備計画を策定し、検討してまいります。	総務課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	吉永 将志	1. 要生活支援者の金銭管理等の管理について	(1) 現況を伺う。 (2) 今後の支援体制の方針を伺う。	町長	(1)社会福祉協議会が日常生活自立支援事業において金銭管理等が行われています。現在、本来の基準に該当する対象者で事業実施ができていないなど見直しを行っています。そのため、対象者の制限がかかる現状を把握しており、身寄りがない方、身体的理由などから支援をしてほしい方への対応が行き届かない現状も把握しています。 (2)現状より今後の支援体制としましては、社協を含めた関係機関にて検討する予定です。	福祉課
		2. 町営住宅の活用状況は	(1) 現況を伺う。	町長	町営住宅については、10団地44戸を整備し、5月末現在1戸の空室となっております。	総務課
		3. 行政懇談会について	(1) 今後の予定を伺う。	町長	行政懇談会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中断しておりますが、議会および区長会等地域代表の皆様と相談しながら、開催したいと考えております。	総務課
		4. 堆肥センターについて	(1) 現況を伺う。 (2) 今後の目標を伺う。	町長	(1)令和5年4月より久米島町堆肥センターは民間事業者による業務委託を行っており、令和5年度の販売実績としまして、バラ堆肥販売が99t、袋詰め堆肥販売が13,982袋、フレコン袋販売が76tで計5,520,592円の実績となっております。 (2)今後の目標につきましては、堆肥の生産量の増産及び品質向上に向け取り組んでまいります。	産業振興課

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	新垣 幸子	1. 災害対策の今後の取組について	<p>去る4月3日に発生した台湾地震に伴い、13年ぶりに県内全域に津波警報が発令された。その際の町内の避難状況等について4点伺う。</p> <p>(1)避難場所は何か所で、何名の方が避難されたか。あわせて、通常の避難訓練の参加人数も伺う。</p> <p>(2)各避難場所や各事業所、介護施設等からどのような問題点や課題があったか、伺う。</p> <p>(3)特に、要配慮者(災害弱者)の避難のルール作りや夜間における避難体制の構築が喫緊の課題だと考えるが、その対応について。</p> <p>(4)今回のことを考慮した上で、今後の地域防災計画や防災訓練の取組について。</p>	町長	<p>(1)避難場所17カ所において1493名が避難しております。また、直近の防災訓練では、令和4年度が1,726名、令和5年度が1,274名の参加者となっております。</p> <p>(2)各避難所についての問題点や課題としては、自助、共助の脆弱さが浮き彫りとなりました。避難所には、各自で必要となる飲食品や日頃より服薬している薬を持つなど、自らをまず守ることをしなければなりません。今回、各事業所、介護施設等については、日頃より事業所での避難計画があり、速やかに避難がされたことを確認しています。問題点や課題については、各事業所では話し合いがなされたことを確認しました。また、避難場所にて、配置要員が常駐していない箇所があり、災害対策本部との情報共有などが取れず、津波注意報が発令されたと同時に帰宅したこと。避難誘導、避難支援等については、必要な配置要員が確認できていないため災害対策本部と配置要員間の連絡体制の強化も今後の課題となっております。</p> <p>(3)要配慮者の避難については、行動時に避難支援を必要とされる要支援者を特定し「避難行動要支援者名簿」で把握します。その名簿に基づき、要支援者個別の避難計画を策定します。支援者としてはご家族、近所の方などがキーパーソンとなる避難支援の計画となります。喫緊の課題としては、個別避難計画を支援関係者に展開し、個別避難計画通りの訓練などを行う必要があります。</p> <p>(4)今回の課題を見直し、車移動に対応した避難経路の確保と迅速な人員配置。備蓄保管のない避難場所における飲料水供給や簡易トイレの設置等、防災訓練においても実施できるよう取り組んでまいります。</p>	<p>(1)総務課 (2)総務課、福祉課 (3)福祉課 (4)総務課</p>

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 畜産農家の現状と対策について	<p>家畜市場で黒毛和種の子牛価格が暴落している中、畜産農家の方から以前にも増して切実なる声があった。「平均価格が70万円以上の売り上げがあった時と比較して今では約37万円までに落ち込んでいる。1頭当たりの経費は約60万円もかかり、もう努力の限界を超えている。本当に苦しい。」とのお話であった。そこで、ここが踏ん張りどころとは言っても、何とかならないか、今できることを考えてみたいと思う。</p> <p>(1)牛のセリ状況の推移について。(令和4年度、5年度)</p> <p>(2)町、JA久米島支店、久米島和牛改良組合の三者で講師を招聘して勉強会や意見交換会を開催してはどうか。</p> <p>(3)町単独で基金を活用して、畜産農家の借り入れ利息に対する一部補助が可能か、ご見解を伺う。</p>	町長	<p>(1)牛のセリ状況の推移につきましては、令和4年の平均価格が533,326円、令和5年が425,758円となっております。</p> <p>(2)勉強会や意見交換会の開催につきましては、昨年度、農業共済組合主催の飼養管理についての勉強会や沖縄本島への視察研修などを行っております。</p> <p>(3)畜産農家の借り入れ利息に対する一部補助につきましては、個人の資産を形成するための支援となるため公金支出は困難です。畜産農家の経営安定につきましては、家畜・畜産物の価格安定事業として肉用牛子牛生産者補給金制度等がございますので、畜産農家の制度への加入推進に努めてまいります。</p>	産業振興課
		3. 沖縄や久米島の歴史及び平和教育の現状について	<p>「沖縄から平和発信を！」とよく言われていますが、当町の現状について4点伺う。</p> <p>(1)沖縄や久米島の戦争を含めた歴史の授業について、各学校で実施しているか。あわせて、その授業時数(年間の全学校の平均)を伺う。</p> <p>(2)平和学習は、慰霊の日に向けた取り組み以外に平日頃から行われているか、伺う。</p> <p>(3)当町の平和学習講師の現状とその人材育成について、ご見解を伺う</p> <p>(4)今こそ平和発信が強く求められているが今後の平和教育の取り組みについて。</p>	教育長	<p>(1)全学校で社会科及び特別活動や道徳等において平和学習を実施していますが、時間数については把握しておりません。</p> <p>(2)各学校では6月23日の慰霊の日に向けて、特設授業及び平和集会等を開催し、平和について学んでいます。また、現在世界で起こっている紛争などの時事問題を通して平和について直接考える授業や、命の大切さを理解する、人権を尊重する、異文化を知る等、発達段階及び教科横断的に様々な平和教育を行っております。</p> <p>(3)本町小中学校において、昨年度、平和学習講師をお願いした人材は5名おります。一方で、高齢化に伴い、戦争体験を直接語れる人材は少なくなっています。このような現状を踏まえ、今後は、沖縄県平和記念資料館作成の久米島出身者の「戦争体験証言DVD」や「久米島町史資料編Ⅰ久米島の戦争記録」に収録された戦争証言を活用した平和教育を行ってまいります。</p> <p>(4)沖縄戦や久米島での戦争について学ぶことができる久米島博物館で開催している「平和展」や「久米島町史資料編Ⅰ久米島の戦争記録」を活用して平和教育を行うほか、学校においても慰霊の日の特設授業だけでなく教育活動全体で取り組んでまいります。</p>	教育課・博物館

令和6年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 地域おこし協力隊の活動実績と展望について	<p>去る3月17日に、久米島町地域おこし協力隊活動報告会が実施されました。どの事業もとても素晴らしく深く感動しました。皆様の御尽力に対し、心から感謝致します。その中の町営塾と放課後教室・まなびや及びよんなあ教室について伺う。</p> <p>(1)町営塾(久米島学習センター)について</p> <p>ア. 活動内容</p> <p>イ. 何名の高校生が利用しているか。</p> <p>ウ. 去る3月末までの進路決定状況。(国公立大学、私立大学、専門学校等)</p> <p>(2)放課後教室・まなびやについて</p> <p>ア. 活動内容</p> <p>イ. 何名の中学生が利用しているか。</p> <p>ウ. 課題や今後の取組</p> <p>(3)子どもの居場所サポート教室・よんなあ教室について</p> <p>ア. 活動内容</p> <p>イ. 何名の児童生徒が利用しているか。</p> <p>ウ. 課題や今後の取組</p>	町長 教育長	<p>(1)町営塾の活動内容については、①学習指導やキャリア教育などを通して、塾生の進路実現をサポートする、②高校や中学校の関係者との連携を図り、久米島高校への島内進学率向上を目指す、③久米島への定住に向けて、地域交流や研修・資格取得などを積極的に行うこと、以上大きく3つのミッションとして活動しております。</p> <p>入塾者数について4月末時点で22名となっております。</p> <p>令和5年度の進路実績としましては、国公立大学7名、私立大学9名、専門学校等3名となっております。</p> <p>(2)ア.「まなびや」の活動内容としては、生徒の放課後の自主学習および、安心して過ごせる居場所として両中学校に各2名のコーディネーターを配置しています。また、授業時間における学習支援や、キャリア教育を意識したイベント等も開催しています。</p> <p>イ. 令和4年度 球美中:1,319名、久米島西中 1,769名 令和5年度 球美中: 979名、久米島西中 2,437名 球美中のみ4~10月分</p> <p>ウ. 課題として、学習に集中したい生徒とそれ以外の生徒が混在し、運営が難しかったため、生徒への声かけや部屋分けを行うことで、生徒のニーズを踏まえた学習指導を行っています。今後の取組としては「学習フォロー」を中心としたまなびや運営を行いつつ、町営塾スタッフの支援を受けながら各種検定対策を実施してまいります。今後も学校の課題やニーズにあわせ、より効果的なまなびや運営の方法を模索しながら取り組んでいくこととしております。</p> <p>(3)ア. 子どもの居場所「よんなあ教室」は、在籍校の支援・協力のもと、学校復帰や社会的自立を目指し、不登校児童生徒の状況に応じて、学習支援や基本的な生活習慣の改善のための様々な支援活動や体験活動を行っています。</p> <p>イ. 令和5年度実績9名(小学校2名、中学校7名)、令和6年5月末現在4名在籍(小学校2名、中学校2名)</p> <p>ウ. 指導員のスキルアップを図り、いろいろな課題に対応できる指導力を身につける必要があることが課題です。今年度も、事例検証や研修の機会を確保するとともに、子供たちの将来を見据えた「社会的自立」に向けて、学校・保護者・地域との更なる連携強化を図って参ります。</p>	(1)企画財政課 (2)、(3)教育課